福祉情報誌

ふくどん

福丼

＜福祉の情報てんこ盛り＞

2017
11月
NO.126

歓迎！大津町社会福祉協議会松本さん
※詳しくは２面掲載

災害に強いまちづくりを！

目　次

熊本県大津町社協・西原町社協交流会・・・１
大津町社協交流会／赤い羽根共同募金運動・２
第一民生委員児童委員協議会／福祉団体／
西原敬愛園／デイサービス孫の手・・・・・３
サポートセンターはばたきだより・・・・・４
いいあんべー家だより・・・・・・・・・・５
お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・６

編集・発行
社会福祉法人
西原町社会福祉協議会
〒903-0111 沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地
TEL９４５－３６５１ FAX９４６－６７７７
URL www.nisya.net
E-MAIL nisya@nisya.net

「福丼」は社協会費、赤い羽根共同募金配分金、寄付金、沖縄県補助事業等によって作成されています。

防災の意識を高めよう！

10月19日、熊本県大津町（おおつ）社会福祉協議会の松木雄一郎事務局次長が、西原町社協を訪れ交流を図りました。

大津町は、平成28年4月14日及び16日に発生した熊本地震で被災した町です。被災地支援で県内社協からも職員派遣があり、西原町社協からも大津町へ派遣されました。今回は、名護市と那覇市で講演会があり、その合間に西原町社協に御越し頂きました。

交流会には、日本防災士会沖縄県支部支部長新城格氏（西原町在）、西原町第二民生委員・児童委員の新川佳代子会長、宮城洋子民生委員、宮城ヨシ民生委員を交え、災害時の様子や対策などアドバイスを頂きました。

交流会は短い時間ではありましたが、災害に備えて日頃から意識すること、地域にあった組織づくりをすることが重要だと学びました。

社協には、災害発生時に「災害ボランティアセンターを開設する」という大きな役割があります。職員は、災害ボランティアセンター設置訓練や、研修等を積極的に行っていく必要があると強く感じました。また、社協事業の地域福祉推進会においては、自治会長・地域の役員・民生委員の方と一緒になって福祉マップづくりを行っております。今後も地域福祉に力を入れ、平常時から、防災への意識を高めていきたいと思います。

松木雄一郎さん

からいもくん
大津町の特産品である「からいも」をモチーフにしたキャラクター。よろしくね！

おかげ様で「笑顔」が広がっています！

・西原町共同募金委員会・

10月1日からスタートした赤い羽根共同募金運動は、サンエー西原シティでの出発式を皮切りに、4日に町内学校訪問と5日に町内５００社への企業訪問を行い、募金協力依頼を行いました。

出発式では、大城幸哉町共同募金委員会会長の運動協力のあいさつのあと、上間明町長からの激励のあいさつ、厚生労働大臣メッセージが読まれました。

第一号募金として（株）石川酒造場、（有）西原農園、（有）宮平プロパンよりひとことメッセージと募金のご協力をいただきました。

結びには、ガンバロー三唱で、参加者全員が運動期間一致団結して取り組むことを誓い合いました。

出発式のあと、サンエー西原シティにおいて街頭募金も行い、早速温かい志をいただくことができました。

10月8日、15日に坂田小学校、障がい児者父母の会、更生保護女性部、民生委員のボランティアのもと街頭募金を行い多くの協力をいただいています。

本年度も西原町内の各世帯、事業所、職場、学校等において赤い羽根共同募金へのご協力と、町内スーパー等にて街頭募金を実施致しますので、ご協力よろしくお願いします。

さわりんダンスも披露

第一号募金　企業のみなさん

第2民児協

坂田小学校

あがり学童
ハイサイ学童

赤い羽根募金街頭募金活動ボランティア募集

内　　容：募金箱を持って店頭にて募金啓発及び呼びかけをします。
日　　程：11月１９日／12月3日・24日（すべて日曜日です）
活動時間：①午後2時～4時　②午後4時～6時　※５分前には集合お願いします
集合場所：サンエー西原シティ 宝くじ売り場側入口
服　　装：軽装や履き慣れた靴（ぞうり禁止）での参加をお願い致します。
参加申込：随時行っております。希望日の1週間前までには、参加申し込みをお願いします。
なお、申込みが多数の場合は場所の都合上、先着順にて決定致しますのでご了承下さい。

※町内学校へも街頭募金ボランティア募集の呼びかけを行っております。児童生徒が参加希望の場合は、ボランティア担当の先生へお申し込みください。
※一般の方は、直接、社協担当までお申し込みを行って下さい。
※街頭募金当日の打ち合わせは現地にて担当者が行います。

○申込みお問い合わせ
西原町共同募金委員会　担当／比嘉
TEL：９４５－３６５１

ふれ合い親善・交流会

-第一民生委員児童委員協議会-

平成29年9月11日(月)、第一民生委員児童委員協議会の6名は、岡田夕起子所長代理率いる（有）サポートセンターわくわくの子ども達と先生方とのふれ合い親善・交流訪問を行いました。

（有）サポートセンターわくわくは、発達障害児童の支援を行い当該児童の健やかな成長を促す施設であり、それに対応する先生も素晴らしい方ばかりです。

同センターは、小学生以上高校生迄と未就学児童（小学1年生未満）の2クラスがあり、私達は未就学児童クラスと城間京子先生を含め5人の児童との親善・交流を図りました。

同センターのタイムスケジュールに乗り、自由時間には、ブロック遊びや歌を歌い楽しく過ごしました。ブロック遊びでは、バキューム車やゴミ回収車を造り自然環境に優しい心で望んでいるなと心を打たれました。又、国吉伸吾先生による絵本の読み聞かせでは真剣な眼差しで、聞く態度は素晴らしいものがありました。

歌遊びの時間には、城間京子先生のピアノ演奏に乗せて①太陽の子ども達②チョウチョウ③アイスクリーム④ひまわりの歌を歌い国吉伸吾先生の三線演奏によるオジー自慢のオリオンビールや安里屋ユンタ、民生委員児童委員の石底長保氏によるキジムナーの三線演奏には、児童達も笑顔で楽しい素晴らしい一日であったし、私達はエネルギーと活力を得たものでした。子ども達の発想も素晴らしいものがありました。

同施設から、「またのお越しをお待ちしています」との声があり嬉しくなります。また、機会を得て親善・交流を図りたいです。

サポートセンターわくわくのスタッフのみなさんと記念撮影

メダル獲得者続出！

-西原町身体障害者協会-

10月7日、沖縄県総合運動公園陸上競技場で第53回沖縄県身体障害者スポーツ大会が開催されました。当日の朝は、社会福祉センター前で出発式を行い、西身協の選手10名、役場職員、その他20数名を前に、上間明町長の激励を受けて大会会場へ向かいました。

本大会は、南は八重山・宮古からも選手団一行が参加し、700人余りが練習の成果を競い合いました。

西身協（大城清会長）の10名の選手も南部地区（西原・与那原・南風原・八重瀬）の仲間と一緒に競い、宇栄原進選手がソフトボール投げで金メダルを獲得して幸先の良いスタートを切りました。続いて、呉屋光雄選手が砲丸投げで金、屋良陽子選手がフライングディスクで金、渡久山勇選手が200メートル走で金。金銀銅を合わせると10名の内7名が表彰されました。

大会終了後、西身協の成績を上間明町長へ報告し、大変喜ばしいことだと語ってくれました。

西身協の選手のみなさん

トーカチ・カジマヤー祝い　西原敬愛園

9月23日（土）、西原敬愛園にてトーカチ・カジマヤー祝を開催しました。カジマヤー祝者が3名、トーカチ祝者が5名合計8名の方々を盛大にお祝いしました。

職員のかぎやで風で幕を開け、ご家族様よりひとりひとり祝者の紹介を行い、苦労話や楽しい思い出等を語りました。又、余興として城間重雄民謡研究所（ご家族）の皆さんが三味線でテンポのよい民謡で会場を盛り上げ最後にカチャーシーで幕を閉じました。

⇒余興も楽しみました

大盛り上がりの運動会　デイサービス孫の手

10月12日、秋の運動会を（天気を鑑み室内で）行いました。1週間前から皆で新聞紙を丸めて玉投げ用のボール作り、ハチマキ作り、ボール投げの練習に取り組みました。当日はストライクアウトやパン食い競争などを行い、大変盛り上がりました。鶴さん亀さんチームに分かれ景品を賭けて競争し、「がんばれ、がんばれ～！」と声をあげ皆真剣な様子でした。翌日は「昨日は楽しかったさ～！疲れてすぐ寝たよ～」と笑顔でお話されていました。

ストライクアウト難しいな～

パン食い競争頑張ってます

社協基本活動目標：わたしたちは、互いに助け合い支えあって、共に生きる福祉のまちをつくりましょう

はばたきだより

○名　称
社会福祉法人西原町社会福祉協議会
サポートセンターはばたき
○営業日
毎週月曜日～金曜日
（土・日・祝日は休み）
○開所時間
８：３０～１７：１５

「あたりまえに働き、えらべる暮らしを」
-きょうされん全国大会-

毎年、年に一度行われるこの全国大会は、障害のある方でも、「あたりまえに働き、えらべる暮らしを」をテーマに全国各地で働いているメンバーが集まり、社会に発信していく大会です。今回行われた９月14日～16日までの北海道大会へは、はばたき職員１名で行かせて頂きました。

大会では、様々な分科会が開かれており、「表現活動の可能性」をテーマに掲げている分科会へ参加しました。

我らはばたきにも絵を描く人、ものを作る人など様々なアーティストがいます。「このアート活動をどう進めていくのか」「それをどう社会へ発信していくのか」についての報告会へ参加し学びました。

全国大会のあとは、北海道浦河町にある、「べてるの家」へ視察研修へ行きました。

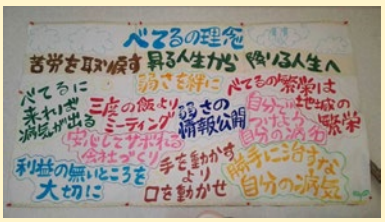
べてるの家とは、精神障害等を抱えた当事者たちが働き、暮らす地域活動拠点のことです。共同住居12カ所、A型・B型事業所を運営しており、全国各地や世界からも注目を集めています。

その理由は、「当事者研究」という精神障害をかかえた方への支援が先駆的に始められ進んでいるからです。当事者たちが、自分の過去を話し、思いを伝え、みんなで共感共有を行っていく研究です。苦悩を一人で抱えるのではなく、さまざまなミーティングを重ね、薬に頼らない生き方、ありのまま生きていく。という考えが根っこにあります。

べてるの家が掲げている理念や、当事者たちへの支援、支援する側の在り方等たくさん学ばせて頂きました。

サポートセンターはばたきでも、地域との繋がりを大切にし、地域で生活していく意味の深さ、メンバーの笑顔を守っていきながら、その人らしい生き方を支えられるよう職員一同頑張っていきたいと思います。

「当事者研究会」の様子



べてるの家理念

大会会場の様子

べてるの家外観

盛り上がりました！
-ボッチャ大会-

９月21日(木)にはばたき利用者で余暇活動の一環として沖縄県総合運動公園体育館にて行われた「ボッチャ大会」に参加しました。普段あまり交流のない他市町村のA型、B型事業所との交流もすることができてとても充実した時間となりました。

残念ながら優勝は逃しましたが優勝したかのような盛り上がりを見せていました。

えいっ

楽しんでます！

力を合わせて頑張るぞ！

西原町立坂田保育所（外間みゆき所長）の子ども達（23名）が、運動会の疲れを癒しに、喫茶はばたきのイチ押し商品、アセロラかき氷を食べに来てくれました。

初めてのアセロラ味に「おいしい～」「つめた～い」と、弾ける笑顔。すぐに完食する子、ゆっくり味わって食べる子、それぞれみんな、満足そうに食べていました。

またのご来店お待ちしております♪

社協活動基本目標：わたしたちは、ボランティア活動に参加し、共に喜び合える福祉のまちをつくりましょう

西原町介護予防拠点施設

いいあんべー家（やー）だより

開館日：毎週月曜日～土曜日
休館日：日曜日・祝日・年末年始・慰霊の日（6月23日）
時　間：午前9時～午後5時
対象者：西原町在住・在勤の40歳以上の方
利用料：100円【マッサージ器具などを利用できます】※1日2回
場　所：西原町字与那城135番地（中央公民館隣り）
電　話：098-946-1734
※利用時に介助が必要な方は介助者の同伴をお願い致します。

いいあんべー家各体操教室 体力測定週間 実施報告

10月16日（月）～21日（土）

いいあんべー家では年に1回、下記の各体操教室参加者を対象に体力測定を行っております。内容は、身長と体重の測定や、30秒椅子立ち上り・ファンクショナルリーチ・開眼片足立ち・通常歩行・最大歩行・長座体前屈・握力の7種類の運動機能測定を実施しました。

参加者の中には悔しがる人もいれば、「去年よりも良くなっている」と満足そうな人など、様々な表情が見れました。

また来年の体力測定に向けて、今回よりも良い結果が出るように、私達職員も体操教室を充実させていきたいと思います。

今年も体力測定に参加なさった皆様お疲れ様でした。

30秒椅子立ち上り

片足立ち

握力

通常・最大歩行

身長・体重

介護予防・認知症予防事業 前期 じんぶん教室 実施報告

6月28日～9月27日　全14回　毎週水曜日

いいあんべー家では年に2回、前期と後期で65歳以上の方を対象とした介護予防教室を行っております。主な内容は、筋トレ・ストレッチ・栄養・口腔機能・作業活動・体力測定を実施し、【認知症予防】を目的としたプログラムを約3ヵ月間行っております。

みなさん初めての経験で最初は大変だったと思いますが、最終日まで講師の理学療法士と一緒に運動を行いました。最後は3ヵ月間の評価と修了式を行い、お世話になったみんなのアイドル先生と2ショット撮影❤

今回も楽しく事業を実施することが出来ました。参加なさった皆様大変お疲れ様でした。

また11月から始まる後期じんぶん教室の参加者も頑張っていきましょう。

平成29年度 体操教室 案内

いいあんべー家では介護予防を目的に、自宅でも取り入れられる内容で、筋力トレーニングやストレッチを中心に実施しております。

週に4日間（全7回）の体操教室を開催しており、男性だけの体操教室も行っています。

体操教室の参加者募集は随時行っておりますので、興味のある方、参加希望の方は、窓口までお問い合わせください。

ちょこっと体操　男塾

●**日時**

木曜日
①10時～10時45分

●**場所**
・西原町いいあんべー家

●**対象**
・西原町在住、在勤40歳以上
・運動制限の無い方
・男性

●**受講料**
・無料

●**申込み**
・窓口にて書類提出
（申請・同意書の記入）
（顔写真撮影）

●**持物**
・動きやすい服装・室内シューズ
・飲み物

男性のみなさん待ってます!!

ちょこっと体操

●**日時**

月曜日		水曜日		土曜日	
①10時～10時45分	②11時～11時45分	①10時～10時45分	②11時～11時45分	①14時～14時45分	②15時～15時45分

●**場所**
・西原町いいあんべー家

●**対象**
・西原町在住、在勤40歳以上
・運動制限の無い方

●**受講料**
・無料

●**申込み**
・窓口にて書類提出
（申請・同意書の記入）
（顔写真撮影）

●**持物**
・動きやすい服装・室内シューズ
・飲み物

【提出書類】
・参加申込書（1枚）
・参加同意書（1枚）
・情報提供書（1枚）

※事業を安全に進めていくために、通院されている方や疾患がある方へは、申込時に『医師からの情報提供書』の提出も必要になります。※いいあんべー家指定用紙。

社協基本活動目標：わたしたちは、知恵や創造性を生かした心豊かな福祉のまちを作りましょう

リフト付き車両にて無料で病院・公的機関へ送迎します

◎移送サービス事業　利用料無料（町受託事業）

車イスを使用している高齢者や障害手帳の交付を受けた方が、病院又は公的機関等を利用する際、車イスに乗ったまま目的地まで安全に移送します。

※運行範囲、時間に制限があります。

リフト車にて送迎の様子

◎利用までの流れ

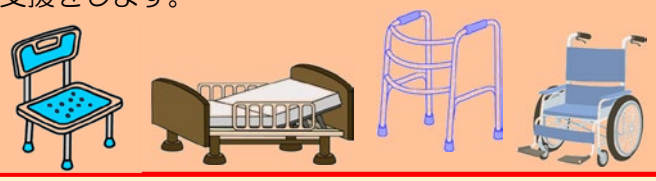
1．初めに社協に電話等でお問い合わせ下さい。
↓
2．社協事務所にて所定の申請書を記入（**申請**）
↓
3．利用希望日時に予約を入れて頂きます。（**予約**）
↓
4．予約日時にリフト車にて、自宅にお伺いし目的地まで送り、帰りもお迎え致します。（**利用**）
↓
5．２回目以降は、日程が空いていれば電話予約のみでご利用になれます。（次回の予約）

◎利用時間　午前8時30分～午後5時15分（土・日・祝日は休み）

【お問い合わせ】西原町社会福祉協議会（担当 上原）　電話　９４５－３６５１

お譲りください
～福祉機器リサイクル事業～

社協では、介護ベッド・車イス、歩行器、シャワーチェアなどの貸出事業を行っています。皆様の家に利用していない介護ベッド、車イスがありましたら、ぜひお譲りください。リサイクルにて、町内で必要としている方へ無料で貸し出し、日常生活の支援をします。



社協会員広告

善隣幼稚園職員募集

職　種：預かり保育（保育終了後～夕方）
資　格：**幼稚園Ⅱ種免許及び保育士資格**
勤　務：月～木　午後２時～６時半
　　金　　午後１２時～６時半
　　夏休みや冬休みなどは午前よりシフト勤務
休　日：土・日・祝祭日・年末・年始
時　給：800円
【連絡先】098－944－5344（担当：玉城）
※詳細は当園へお尋ねください。

西原町身体障害者協会視覚部発足20周年記念
沖縄県視覚障害者福祉協会設立60周年記念
チャリティーコンサート

・・・出　演・・・
オールドファッションラブソング
ヴォーカルアンサンブル・G４
知念こずえ（民謡歌手）
コールにしはら（混声合唱団）
B・フレンズ（沖縄盲学校ＯＢバンド）
水曜会（西原町身体障害者協会視覚部三線サークル）

日　時：2017年11月26日（日）午後１時30分～４時
場　所：西原町中央公民館大ホール
入場料：高校生以上 1,000円　中学生以下 無料

私たち視覚障害者の外出の助けとなる
沖縄県視覚障害者福祉協会の同行援護事業で使用する自動車購入の資金造成に寄付します。
問合せ 098-946-9848（西原鍼灸治療院）

主 催：西原町身体障害者協会視覚部　/　共 催：沖縄県視覚障害者福祉協会
後 援：西原町 / 西原町教育委員会 / 西原町社会福祉協議会 / 西原町身体障害者協会

御芳志

御芳志がありましたので、紙面にて紹介し深く感謝申し上げます。

◆一般寄付・香典返し◆
- 三和金属株式会社（代表取締役社長 具志堅一真）様より 10万円
- 西原町ゲートボール連合会（会長 喜納昌盛）様より社会福祉チャリティーゲートボール大会の収益寄付金として 3万8千円
- 字呉屋、小波津仁徳 様より　百歳を記念して 10万円
- 字翁長、城間千代子 様より（故夫 城間哲男）香典返しとして １０万円

◆お元気ですか事業への野菜、物品の提供◆
- 字幸地、仲宗根 好美 様より（缶詰、小麦粉）／ＪＡ青壮年部 様より（ゴーヤ）

社協活動基本目標：わたしたちは、おもいやりいたわりあう心で住みよい福祉のまちをつくりましょう